

かに

2004.11.15

第14号

市議会だより



総合的な学習 米づくり（春里小学校5年生）

第6回定例会の審議の結果	2ページ
常任委員会審査報告	2ページ
一般質問の要旨	3～7ページ
県内市町村合併情報	8ページ
第7回定例会の予定	8ページ

第6回定例会

平成15年度可児市水道事業会計決算認定のほか 5議案を可決・同意しました。

平成16年第6回可児市議会定例会が9月1日から22日までの22日間の会期で開かれました。

また、8月11日に第5回臨時会が開かれ、正副議長の選挙、常任委員会委員の選任などが行われました。

第5回臨時会

▼人権擁護委員候補者の推薦について
(全会一致)

認定

▼平成15年度可児市水道事業会計決算認定について
(全会一致)

予算

▼平成16年度可児市一般会計補正予算(第2号)について
(賛成多数)

2億8000万円を追加し、総額が249億2500万円となりました。その主な内容は、市道利用地購入に伴う土地購入費、可児市運動公園の整備工事費などです。

人事

▼固定資産評価審査委員会委員の選任について
(全会一致)

▼教育委員会委員の任命について
(全会一致)

その他

▼岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更について
(全会一致)

▼市道路線の認定について
(全会一致)

請願

▼国民が安心して暮らせる年金制度確立のために、年金「改革」法の実施を中止するよう国への意見書提出を求める請願書
(賛成少数不採択)

▼「郵政事業民営化反対」に関する請願
(賛成少数不採択)

▼地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書
(賛成多数)

常任委員会 の審査

委員長報告から

総務企画委員会

◇平成16年度可児市一般会計補正予算(第2号)について
質疑 今後交付税の減額が予測される中、予算編成

をどのようにしていく考えか。

答弁 三位一体改革により今のような交付税の減額が続くのであれば、ある程度臨時財政対策債での対応にならざるを得ない。予算の積算段階からの見直しと、事業の選択をすることになる。また、新規事業には慎重にならざるを得ない。



経済福祉委員会

◇平成16年度可児市一般会計補正予算(第2号)について
質疑 花フェスタ2005

ぎふへの市として取り組み、対応はどう考えているのか。
答弁 前回の花フェスタ95と同じような動員体制を予定している。小中学校へは、体験学習の一環として来場をしていただく案を考えている。

文教委員会

◇平成16年度可児市一般会計補正予算(第2号)について
質疑 広見小学校のことば

の教室には、何人の児童が在籍しているのか。また、教室ではどのように実施されているのか。
答弁 他校からの通級児童も合わせて30人程が通っており、教室は児童ごとに訓練時間を割り振って、行なっている。

建設水道委員会

◇平成16年度可児市一般会計補正予算(第2号)について
質疑 合併浄化槽設置の本

人負担額はいくらか。また、地域指定はあるのか。
答弁 概ね15万円程度となるよう補助を行なっている。小淵ため池から上流の太平、大萱地区の申請はすべて受ける。残りの地域については、公共下水道の計画を考慮しながら費用対効果を考え、合併浄化槽をお願いしている。

一般質問



みんなで温かい支援を



富田 牧子

学校給食と地域農業の連携について

着実に前進的な実践が行われている
古田環境経済部長

問

先日訪問した八雲村では、地元へ学校給食用野菜生産グループがあり、給食野菜の7割を供給。また、食育推進委員会のメンバーとしても、学校給食に関わっていた。地元産米や野菜を使った学校給食は食の安全からも地域農業振興からも必要なことではないか。

答

学校給食と地域農業の連携は、食の安全・安心の確保や地産地消の推進を図る上からも極めて重要なことと考えている。今年度からは、地産地消推進の会議を設けて地元農産物利用に向けて協議。可児米についても、初めて味ご飯として給食に利用した。

問

介護保険利用料減免制度の創設を

来年の介護保険見直しを前にして、①利用料の2〜3割への引き上げ②施設入所者からホテルコストや食費を徴収③保険料を負担する年齢の引き下げ④支援費制度との統合が検討されているが、いずれも負担増ばかりである。これらが実施をされれば、低所得者がサービスから締め出されないか危惧している。介護保険利用料の減免制度はできないか。

答

全国市長会も利用料減免を国に要望しているが、国からは一律補助全額補助はするなという指導がある。制度改正の内容が決まった時点で、国の制度だけではどうしても足りない部分があれば、どのような市独自の減免が望ましいか、第3期介護事業計画策定にあわせて研究する。

研究していきたい

浅野健康福祉部長



川手 靖猛

外国人児童生徒の教育について

フレスクールの設置を
考える

井戸教育長

問

市内の一部小中学校で、言葉や習慣の判らない外国人児童生徒が増えている。これら教育現場で、混乱が起きていると聞くが、その実態を問う。このための教育を、市の外郭団体に委託して行いまた、外国人を雇用している企業に、応分の何らかの負担等を願う協賛制度等を考えたかどうか。

答

外国人の児童生徒は、今後も増えていく。そこで小中学校へ編入する前に、日本語、習慣等を身につけるフレスクールの設置を考えたい。実施には、市国際交流協会と連携を図る。また、企業等にも、施設経費等の協賛金・施設の負担等を可能な限りお願いしていく。

問

障害者等に優しいホームページを

情報は、全ての市民に公平・平等でなければならぬ。

答

この度、日本規格協会が「ウェブ・コンテンツJIS」を規格した。障害・高齢者に対しても情報が正確に伝わり、容易に利用できるような文字の大きさ・配色・言葉の扱い・リンク等を考慮している。これらに合わせて、ホームページ等を改訂したらどうか。

答

国のJIS規格化に準じて、順次対応をしていきたい。職員でできるものを予算化して、ソフト・機器購入・委託するもの等を検討する。日程、費用面を考慮して目標レベルを設定して取り組む。

当面、ホームページを来年5月の兼山町との合併に合わせて、更新をしたい。

兼山町との合併時に更新する
渡辺企画部長

一般質問



建設残土処分場と水処理プラント



角 眞一郎

木造校舎の効用を

可能な限り導入していく

武藤教育部長

問

木造校舎や内装の木質化による癒しの効果が目直されている。コンクリート製の校舎に比べて、ストレスが溜まりにくく、不登校児も少ないという調査結果もある。

答

木が、健康や情緒面に良い影響を与えることは、確かにあるのではないかと考え、学校の相談室の木質化や茶室の整備をしてきた。旭小学校の増改築では、北舎の腰壁等に木材を使用して、木の香りのする心安らぐ教育空間としている。今後においても、可能な限り木質を取り入れたい。



山根 一男

重金属汚染問題への対応について

現時点では確約書は考えていない

水野建設部長

問

昨年4月に発覚した可児川上流久々利川の新滝ヶ洞ため池の有害重金属水質汚染問題について、市民の不安は払拭されていない。

答

地元住民や有識者らによる対策協議会が設立され、そこで原因究明や今後の監視体制、恒久策等の技術的な検討、効果の確認等を行っている。今回、対策工事や追跡調査を行い、協議会での議論や検証を得た上で、国交省との協議に入るのが妥当と考えている。

命の尊さを教える教育は

すべての教育活動で行っている

井戸教育長

問

内閣府が発表した「青少年犯罪の凶悪化が進んでいる。『人は死んでも生き返る』と思っている子が7割もいて、死や命が今まで以上に軽く見られる傾向にある。

答

学校においては、命を尊ぶ心と、人としての基本的な倫理観や規範意識を、教科や道徳の授業を始めとして、すべての教育活動を通して育てている。この教育は、学校だけでなく、家庭や地域と連携をしながら進めなければならないと考える。現在展開しているエデュース9の市民運動などでも、生命を尊重する思いやりの心を育てていきたい。

問

市役所1階にある食堂の利用率が悪い。値段も高く味やサービスも良いとは思えない。業者の選定やテナント料の徴収、市職員の満足度はどうなっているのか。

答

食堂は市職員の福利厚生施設という位置づけになっており、テナント料は徴収していない。業者は庁舎開設時に、市内の数業者から応募があり決めた。現在、確かに利用状況は悪いが、業者には続けていきたいという強い要望がある。将来的に庁舎増改築の計画があるので、その過程の中で検討していきたい。

市庁舎には市民にも喜ばれる食堂を

庁舎増改築時に検討していく

山口助役



一般質問

※インターロッキング…舗装用ブロック
※グレーチング……排水溝の金属ふた



一日一寸の草、参った

問 最近の道路管理状況の中で特に気になるのが市道法面と歩車道ブロック際の雑草、併せてインターロッキング歩道の草が目に残る。除草は、どのように考えられているのか。また市道横断溝の※グレーチングから草が生えているが、清掃はどのように対応されるのか。



和教 可児

市道の法面除草と横断溝の清掃を

より良い対応を考えていきたい
水野建設部長

答 主要道路の除草は、一部委託事業で実施しているが、隣接の地権者の方々にお願いしているのが現状。自治会や地域で実施していただく場合は、ふれあい保険の対象と考えている。道路除草方法のより良い対応を考えたい。また、今まで通りのご協力をお願いしたい。

問 子どもの下校時での発生事案が9カ月の間に41件あるが、PTAや安全指導員、警察だけでなく、市としてもパトロールの手助けに、巡回頻度の多い公用車12台に有色回転灯を装着して走行すれば、パトカーとあわせて18台になり犯罪抑止になるのではないか。



久野 泰臣

有色回転灯を装着し、パトロールを

犯罪抑止効果もあるが現行法では
長瀬総務部長

答 防犯活動を実施する場合に自動車に青色回転灯を装着することは、防犯意識の向上と犯罪抑止効果もあるが、現在の法律では一般車両への装備は禁止されている。しかし、警察庁が自主防犯活動支援のため保安基準の見直し作業に着手しており、今後検討する。

問 花フェスタ2005ぎふ開催について、地域的にも大きなインパクトがあるイベントとなるが、一方、市内の道路事情はひどい状況になり、花フェスタ記念公園周辺では、住民の生活に支障が出るため、記念公園に通じる主要幹線道路については、信号時間の見直し変更を願う。特に現在でも慢性的に渋滞している箇所を重点的に対応してほしい。

花フェスタ開催期間の渋滞緩和策を

ぎふ開催について、

答 104日間の開催で一日平均1万人、最高約4万5千人を予想して、駐車場の確保、道路アクセスの対策を実行委員会で検討しており、全体で9千台の駐車スペースを確保している。主要幹線道路や、会場周辺の主要信号については、交通管理センターによる運用や単独運用にでも右左折信号導入、三現化や、信号時間の調整を図っていく。

県・実行委員会と協議を継続中
古田環境経済部長

新しい米政策は、どのように行うのか

米余りの状況は、一向に改善されず、このままでは米価の低迷に1層の拍車が掛かる。

問 当面の米需給対策として新たな過剰米処理方法を国の助成事業である集荷、円滑化対策を活用し、米事情や農村の環境変化に対応するため、可児地域水田農業ビジョンが作成された。将来に望ましい農業に向け、新しい対策の取り組みはどのように行うのか。

水田農業ビジョンにより実施
古田環境経済部長

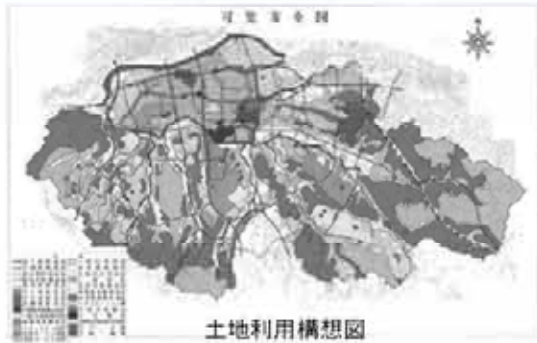
おいしくて売れる米「可児米」としての産地化・ブランドを図るため、「あきたこまち」「あさひの夢」「ひとめぼれ」を主力品種として特定し、安全・安心を基本に産地づくりに努める。

答 また、バラ苗など景観作物も産地づくりとして推進し、「大豆の品質向上定着実証圃」も併せて実施し、今後の産地づくりに結び付けていく。



※デジタル・デバイド…情報技術に通じてないことによる社会的、経済的不平等が生じること

一般質問



服部よね子

問

市民の力を借りての市政運営や、高齢化が進む地域での支え合いをお願いするに当たり、市民の尊い志の積み重ねを何らかの形で集計し、将来還元できないものか。

答

ポランティアは市民との協働のまちづくりの重要な担い手であり、誰もがこれに参加しやすく、頼みやすい仕組みにすることも必要だ。

ポランティアが将来生きるシステムづくりを

関係団体と連携し、地域通貨の可能性を検討
渡辺企画部長



永井 孝昌

問

消防自動車に従来設備されていなかった安全装備を前例がない等の理由で設備しないことのないように、団員の安全確保のためにも可能な限りの安全装備を積極的に取り入れるべきではないか。

消防自動車の安全対策の徹底を

今後は留意すべき

長瀬総務部長

答

安全対策は第一に考えるべきもので今後十分に留意していきたい。毎年一程度更新していく状況の中ではあるが、担当者とも配慮するよう努力していく。

情報革命の入り口としての電子自治体構想は

問

今や電子自治体の取り組みは不可欠である。デジタル・デバイドを解消し、ITを活用して、誰もがどこでも簡単に情報が受けられ、元気・安心・感動・便利を実感できる豊かな社会を築いていかなければならない。

答

電子自治体は行政をスリム化し、利用者の視点に立った住民志向の行政サービスを図ることができるが、この認識と今後の構想は、

市民に役立つ電子市役所の実現に取り組み

本市の情報化の取り組みは全国的にも高いレベルにあると考える。
今後は、電子申請・届け出のオンライン化が課題だ。また、電子入札・調達導入の可能性も探っていきたい。利用者である市民の視点に立った行政サービスの向上や、地域住民に密着したサービスなどを、第4次可児市情報化計画策定の中で明らかにしていきたい。

地域開発では周辺住民に説明機会を

問

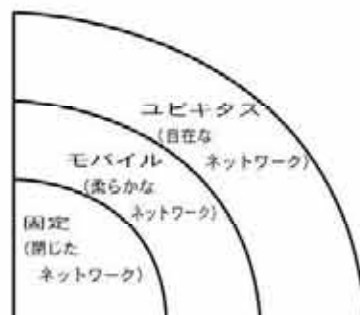
まちづくり条例には、影響が予想される地区住民および利害関係を有する者に事業内容を説明しとあるが、影響が予想される地区住民とはどこを想定されるのか。また、周辺住民にも早めに情報提供することが必要ではないか。

明確な役割分担を

水野建設部長

答

条例の中では事業者は、開発事業を行うことにより影響が想定される住民や利害関係者に事業内容を説明するよう規定している。事業経過報告書、概要書の届け出書類は様式が定められており、それが不備であれば市から業者に指導する。



進展する情報化社会の概念図

一般質問

お知らせ

一般質問の問・答は議員の原稿をそのまま掲載しています。
ご不明な点は直接議員にお尋ねください。

掲載以外の一般質問

- 富田 牧子 ・手狭な図書館本館の拡充構想は
川手 靖猛 ・生きる力をつけるための「通学合宿制度」を
角 眞一郎 ・子どもの居場所づくり新プランへの対応は
山根 一男 ・外国籍住民へのサポート体制の充実を
・NPOインキュベーションオフィスの設置を
久野 泰臣 ・運動公園整備事業について
・市民グラウンドのトイレ改善について
服部よね子 ・中高年男性に家事習得の機会提供を
永井 孝昌 ・市民による水道メーターの検針および集金代行について
村上 孝志 ・合併に伴う教育内容・環境について

可児市・兼山町合併協議会

44項目全ての調整内容が協議会出席メンバー全員の賛成で可決されました。今後の予定は以下のとおりです。

- | | |
|------------|------------------------|
| ・平成16年11月 | 合併協定書の調印 |
| ・平成16年12月 | 議会議決 県知事に合併申請 |
| ・平成17年3月 | 県議会の議決 合併の決定
県が国へ届出 |
| ・平成17年4月 | 総務大臣告示 合併の成立 |
| ・平成17年5月1日 | 新「可児市」誕生 |

県内の市町村合併の状況

今までに、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、瑞穂市、(新)恵那市、(新)各務原市が誕生しました。さらに、平成17年に入ると(新)掛斐川町、(新)関市、(新)高山市、(新)中津川市、海津市、(新)可児市が相次いで誕生します。
(裏面の図を参照)

継続中の合併協議会

岐阜市・柳津町合併協議会
西濃圏域1市8町合併協議会
多治見市・笠原町合併協議会
美濃加茂市・加茂郡町村合併協議会

合併協議会離脱・解散・合併しない市町村

美濃市・瑞浪市・土岐市・羽島市・御嵩町・大野町・北方町・岐南町・笠松町・安八町・白川村



村上 孝志

夜間窓口の開設を

利便性の向上のため
さらに努力

長瀬総務部長

問

当市の共働き世帯は39%である。各種諸証明の発行は市民一人あたり1.45件と多く、入手する場合、仕事を半日休んでいるのが現状である。住民サービス向上のため電話・メールなどで予約を受け、申込みがあったら担当者指定時間に交付する制度を構築できないか

答

住民サービス、住民の利便性を向上させるということは、行政として不断に努力して行く必要がある。IT技術を利用した形のサービスと利便性の向上等の指摘があったが、さらに研究を進め、可能な範囲で努力させていたたく。

問

景気の後退や恒久減税、三位一体改革の影響などで当市の予算は減少し続けている。そのため、貯金である財政調整基金からの繰り入れや借金である臨時財政対策債で穴埋めしている。重要施策への効率的・重点的予算配分をしなければならぬが、新規事業の計画・見直しの考えはあるか

悪化する市財政新規事業の見直しを

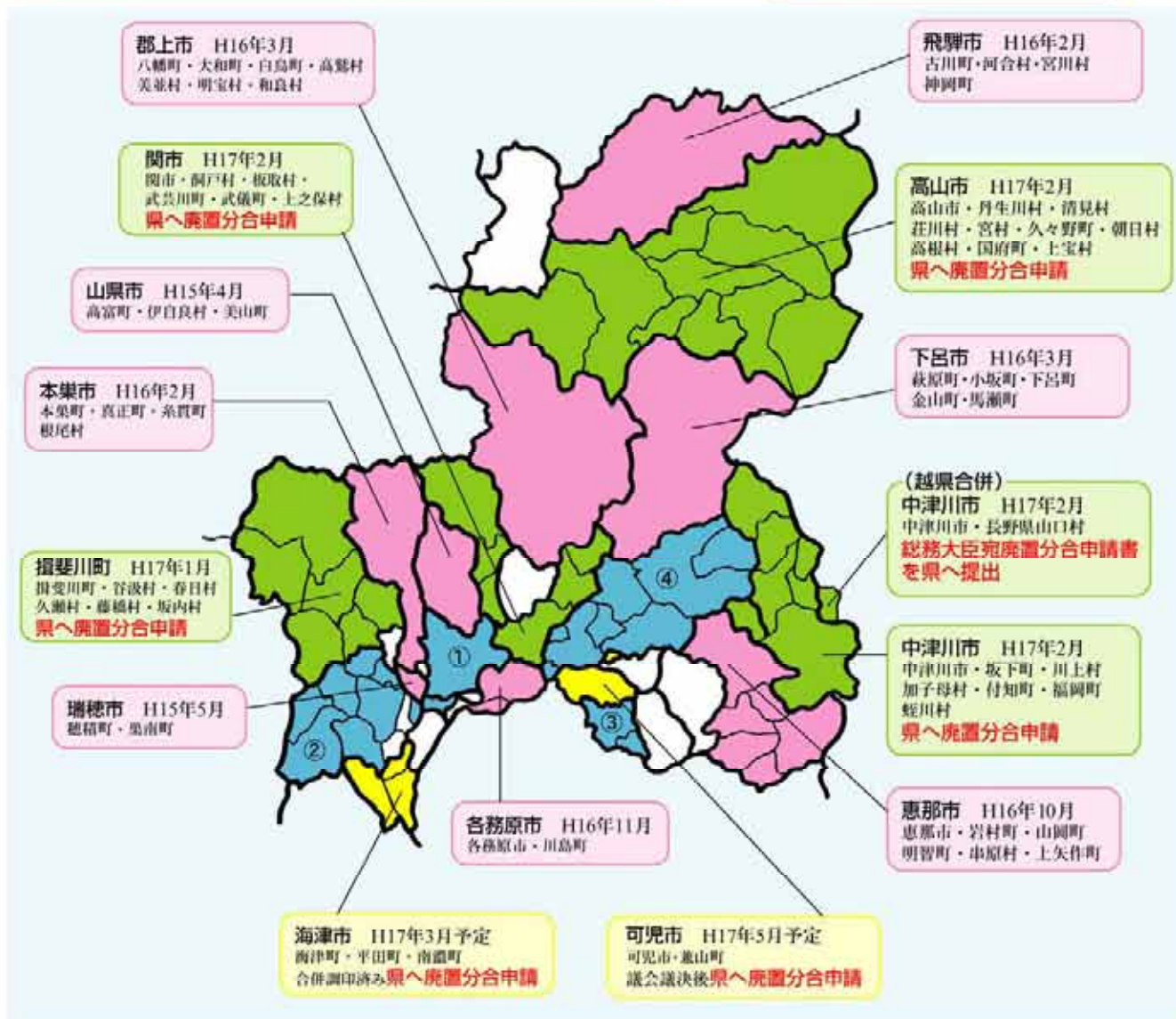
答

最近、人件費や物件費等は比較的抑制されているが、福祉関連諸施策、負担金が増加している。福祉・環境・文化・環境を初め、すべての施策と同じ視点で投資的事業を並べ、何を最優先し、調整していくのか検討していく。運動公園は住民のニーズや今後のまちづくりにおいて必要な施設であると考えている。

健全財政の堅持が基本 山田市長



市町村合併が進む県内の状況平成16年11月現在



あなたも市議会を
傍聴してみませんか

議会では、皆様の生活に密着した重要な問題が審議されます。市政を知っていただくためにも、簡単な手続きで傍聴できますので、ぜひお出かけ下さい。一般質問はケーブルテレビで放映しています。



第7回定例会のお知らせ

12月1日 開会・提案
(議案提案説明)

- 8日 一般質問
- 9日 総務企画委員会
- 13日 経済福祉委員会
- 14日 文教委員会
- 15日 建設水道委員会
- 16日 最終日
- 22日 (委員長報告・討論・採決)

※日程は予定ですので、変更されることがあります。

編集後記

今年、夏からの猛暑で残暑も厳しく、さらに地震・台風の襲来と自然界の猛威を痛切に感じています。

8月の議会人事により、編集委員会のスタッフも大幅に入れ替わりました。これからも、より一層の活性化を図るとともに、市民にわかりやすく、開かれた議会を目指し努めていきます。

市議会だよりをお読みいただいた皆様のご意見をお待ちしています。

議会だより編集委員会

- 委員長 渡辺 重造
- 副委員長 霞 直孝
- 委員 芦田 功
- 亀谷 光
- 伊佐治昭男
- 川手 靖猛
- 柘植 定
- 角 眞一郎

